



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年9月28日

上場会社名 株式会社ハローズ 上場取引所 東
 コード番号 2742 URL <https://www.halows.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 佐藤 利行
 問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理本部長（氏名） 花岡 秀典 (TEL) 086-483-1011
 四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 2023年11月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	95,488	12.1	5,043	16.5	5,039	16.1	3,437	16.3
2023年2月期第2四半期	85,216	5.4	4,330	7.7	4,338	7.9	2,955	8.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年2月期第2四半期	160	88	160	36
2023年2月期第2四半期	138	35	138	01

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	102,781		57,803		56.1	
2023年2月期	99,148		54,806		55.1	

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 57,609百万円 2023年2月期 54,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年2月期	—	20.00			
2024年2月期(予想)			—	22.00	42.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2023年2月期の期末配当金は、普通配当金20円に100店舗達成記念配当金2円を加え22円としております。

3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,977	5.1	9,170	1.3	9,150	0.1	6,480	4.5	303.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期2Q	21,423,900株	2023年2月期	21,423,900株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年2月期2Q	57,275株	2023年2月期	57,255株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年2月期2Q	21,366,638株	2023年2月期2Q	21,364,133株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2023年10月5日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和され、徐々に経済活動が正常化に向かう一方、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰及び円安による物価上昇等、先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界を取り巻く環境につきましては、輸入物価の高騰等によるインフレを背景に、日常の買物での生活防衛意識はさらに強まり、低価格志向が続きました。なお、スーパーマーケット業界では、原材料の高騰等による商品価格の上昇を背景に、既存店の売上高前年比は回復基調となりましたが、電気代及び人件費等の高騰からコスト増加の傾向が見られました。

このような状況の中で当社は、次の取り組みを行いました。

商品面におきましては、継続して重点販売商品の育成及び適切な品質かつ低価格を基本コンセプトとしたプライベートブランド商品のシェアアップを行いました。また、8月から岡山県立大学との共同開発による「栄養バランス弁当」第11弾を発売しました。

販売促進面におきましては、生活防衛企画及び自社会員カード（ハロカ）のポイント優遇施策を継続しました。

店舗運営面におきましては、地域のライフラインとして食料品を販売するという社会的役割を担うため、全店24時間営業を継続しました。また、2023年3月に香川県丸亀市の丸亀中府店、5月に広島県福山市の水呑店及び7月に岡山県岡山市の十日市店を改装し、買物がしやすい環境作りによる店舗の魅力アップを図りました。その他、業務改善施策として、自動発注システム拡大に取り組みました。

店舗開発面におきましては、2023年4月に兵庫県姫路市へ野里店及び6月に愛媛県西条市へ東予店を売場面積600坪型24時間営業の店舗として新規出店しました。これにより店舗数は、広島県32店舗、岡山県27店舗、香川県14店舗、愛媛県9店舗、徳島県9店舗及び兵庫県13店舗、合計104店舗となりました。

社会貢献面におきましては、食品ロス削減の仕組みである「ハローズモデル」を中心に、各自治体、フードバンク事業関連団体及び各企業と連携した活動、並びに自社エコセンターによる資源の再利用化に取り組みました。また、2023年4月に店頭で回収したエコキャップの収益を自治体へ、並びにもずく販売の収益の一部を沖縄県久米島の海を守る会へ寄付を行い、地域との連携強化を図りました。さらに、2023年7月に「第10回ハローズカップ瀬戸内少年少女サッカー大会」及び8月に「第7回夏休み親子食育体験工場見学」を開催し、生活者の皆様との交流を深めました。なお、その他の取組みにつきましては当社ウェブサイトに掲載しております「ハローズサステナビリティレポート」にまとめております。

組織面におきましては、2023年4月に物価上昇を背景に従業員の待遇改善を目的とし、全従業員を対象に賃金のベースアップを行いました。また、5月に経営政策を機動的且つ迅速に反映させるため、社長室及び経営企画室を統合し総合企画室を新設しました。

物流面におきましては、中長期的な成長戦略推進に向けた主要物流拠点の確立を目的とし、2023年3月に香川県坂出市に坂出ロジスティクスセンターを新設すると共に、6月には兵庫県姫路市に兵庫低温センターを開設しました。

以上の結果、商品原価及びエネルギーコストの上昇はあったものの、当第2四半期累計期間の営業収益は954億88百万円（前期比12.1%増）、営業利益は50億43百万円（前期比16.5%増）、経常利益は50億39百万円（前期比16.1%増）、四半期純利益は34億37百万円（前期比16.3%増）となりました。営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

また、当社は商品小売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末において、前事業年度末の財政状態と比べて主な変動は次のとおりであります。

資産の部においては、流動資産は、現金及び預金の増加14億12百万円、売掛金の増加6億56百万円等により、23億85百万円増加し261億32百万円となりました。有形固定資産は、10億53百万円増加し649億45百万円となりました。

負債の部においては、流動負債は、買掛金の増加28億11百万円等により、26億37百万円増加し255億24百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少20億56百万円等により、20億円減少し194億54百万円となりました。純資産の部においては、利益剰余金の増加等により、29億96百万円増加し578億3百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、2023年6月28日に公表いたしました営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益の変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,705	18,117
売掛金	1,113	1,770
商品	3,785	4,108
貯蔵品	5	4
その他	2,144	2,138
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	23,747	26,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,934	64,401
減価償却累計額	△23,817	△24,989
建物及び構築物(純額)	34,116	39,411
土地	19,973	20,357
その他	18,109	13,751
減価償却累計額	△8,307	△8,574
その他(純額)	9,801	5,177
有形固定資産合計	63,891	64,945
無形固定資産		
その他	539	704
無形固定資産合計	539	704
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,837	2,925
建設協力金	1,393	1,333
長期前払費用	4,716	4,715
その他	2,021	2,024
投資その他の資産合計	10,969	10,999
固定資産合計	75,400	76,648
資産合計	99,148	102,781

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,485	12,296
1年内返済予定の長期借入金	4,153	4,114
リース債務	473	444
未払金	1,491	1,334
未払費用	1,407	1,829
未払法人税等	1,764	1,783
契約負債	2,858	2,878
その他	1,252	843
流動負債合計	22,886	25,524
固定負債		
長期借入金	14,057	12,001
リース債務	754	695
退職給付引当金	805	826
資産除去債務	1,574	1,609
預り建設協力金	938	937
長期預り敷金保証金	2,101	2,127
長期前受収益	934	975
その他	288	281
固定負債合計	21,454	19,454
負債合計	44,341	44,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,430	5,430
資本剰余金	5,383	5,383
利益剰余金	43,930	46,897
自己株式	△102	△102
株主資本合計	54,641	57,609
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
新株予約権	164	193
純資産合計	54,806	57,803
負債純資産合計	99,148	102,781

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	82,607	92,780
売上原価	61,909	69,065
売上総利益	20,697	23,715
営業収入	2,609	2,707
営業総利益	23,307	26,423
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	611	839
消耗品費	831	872
給料及び賞与	7,567	8,413
株式報酬費用	27	28
退職給付費用	41	36
法定福利及び厚生費	984	1,068
地代家賃	2,390	2,483
賃借料	88	95
水道光熱費	1,759	2,146
修繕費	360	535
減価償却費	1,789	2,027
租税公課	544	541
その他	1,981	2,291
販売費及び一般管理費合計	18,976	21,379
営業利益	4,330	5,043
営業外収益		
受取利息	10	11
仕入割引	11	11
その他	36	46
営業外収益合計	58	68
営業外費用		
支払利息	47	66
その他	2	7
営業外費用合計	49	73
経常利益	4,338	5,039
特別利益		
固定資産売却益	-	0
固定資産受贈益	-	22
賃貸借契約解約益	0	3
特別利益合計	0	25
特別損失		
固定資産除却損	5	1
特別損失合計	5	1
税引前四半期純利益	4,333	5,063
法人税等	1,378	1,625
四半期純利益	2,955	3,437

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,333	5,063
減価償却費	1,789	2,027
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24	21
受取利息及び受取配当金	△10	△11
支払利息	47	66
固定資産受贈益	-	△22
固定資産除却損	5	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△248	△656
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△242	△321
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,962	2,811
契約負債の増減額 (△は減少)	72	19
預り建設協力金の増減額 (△は減少)	△25	△6
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	29	25
その他	315	211
小計	8,053	9,230
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△40	△58
法人税等の支払額	△1,741	△1,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,271	7,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,879	△2,851
無形固定資産の取得による支出	△226	△265
長期前払費用の取得による支出	△93	△235
敷金及び保証金の回収による収入	3	11
敷金及び保証金の差入による支出	△65	△147
建設協力金の回収による収入	67	70
建設協力金の支払による支出	△183	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,378	△3,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,150	-
長期借入金の返済による支出	△1,830	△2,095
リース債務の返済による支出	△293	△260
配当金の支払額	△426	△469
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400	△2,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,492	1,327
現金及び現金同等物の期首残高	14,663	17,837
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,156	19,165

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。